

市民記者が行く！ 広報サポーターレポート



チカラの限り漕ぎまくれ！ 第18回はストーンカップ



広報サポーター
長瀬拓也さん(高島町)

8月3日、東幡豆港で第18回
はストーンカップが開催され
ました。チームごとに工夫を凝
らしたいかだを漕ぎ、一番速い
チームに幡豆石で
できたストーンカ
ップが贈られる、
そんな全宇宙が注
目する一大レース
取材してきました。

会場には、さま
ざまないかだが並
んでいました。参
加者も事前にスト
レッチを入念にす
るなど、準備を怠
りません。そんな
中、西尾市が生ん
だスター、市民映
画『オシニ』にも出



▶ストーンカップ(中段を指し出番を待ついかだ上段)。ミスターストーン
カップ南翔太さん(下段右)。名古屋市からお越しの三田村さんご一家(下段左)



演予定の「ミスターストーンカ
ップ」南翔太さんが特別来場！
出場者へのあいさつを終えた翔
太さんは「西尾市の皆さんはエ
ネルギッシュでパワーが違う。
年々盛り上がっていて、去年よ
りも活気がある！」と感じたそ
うです。

レースが始まり、65チームに
よる熱い戦いが繰り広げられま
した。ひたすら漕ぐチーム、全



員で息を合わせるチーム、さま
ざまな戦い方を見ることができ
ました。また、レースの合間に
は、いかだを持っていない方で

もいかだレースを体験
できる「体験DIYレ
ース」がありました。
出場者の中には、昨年
ウルトラヒーローシヨ
ーで取材させていただ
いた名古屋市からお越
しの三田村さんご一家
の姿が。3年前から出
場していて、今年は初
めて子どもとレースに
挑戦。無事にゴールが
できて、とても面白か
ったとのことでした。
こうして幕を閉じた
今年のレースは、白山
会クレイジーボーイズ



▲全力を尽くして達成感に歓喜する参加者(上段)。憧れのエキスパート部門のストーンカップを手にした白山会クレイジーボーイズ(下段)

がエキスパート部門で優勝しま
した。カブトムシ好きのメンバ
ーが集まってできたというこの
チーム。幡豆の自然が大好きな
リーダーの永山貴也さんは「う
れしい半分、くやしい半分。ス
プリント部門で優勝できなかった
ので、来年は制覇したい！」と、
早くも来年の目標を語って
くれました。参加者の皆さんそ
れぞれが目の前のレースにとて
も真剣で、漕いでいる最中の気
合は、どのチームも優勝級でし
た。

来年はどのチームがストーン
カップを手にするのでしょうか。
戦いはもう始まっています！

広報サポーターは公募により選ば
れた市民記者です。これからも市
民の目線で市内各地のイベントな
ど取材していただきます。